

船舶事故調査報告書

平成28年8月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|----------------------------------|--|
| 事故種類 | 衝突 |
| 発生日時 | 平成28年4月20日 14時30分ごろ |
| 発生場所 | 静岡県静岡市清水港江尻船だまり 清水港江尻船だまり北防波堤灯台から真方位327° 0.3海里付近 (概位 北緯35° 01.3′ 東経138° 29.6′) |
| 事故の概要 | 監視艇はごろもは、出航中、また、プレジャーボート ^{マットブルー} mat blueは、係留中、両船が衝突した。 はごろもは、右舷船尾部外板に擦過傷を生じ、また、mat blueは、甲板室右舷側外壁の破口等を生じた。 |
| 事故調査の経過 | 平成28年4月21日、調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取済み |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 | A 監視艇 はごろも、68トン 135678、財務省 B プレジャーボート mat blue、5トン未満（長さ8.08m） 241-12188静岡、株式会社mat |
| 乗組員等に関する情報 | A 船長A、三級（航海） B 船長B、一級小型・特殊 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | A 右舷船尾部外板に擦過傷 B 甲板室右舷側外壁の破口及び右舷窓ガラス損壊、左舷中央外板に亀裂を伴う破損 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 5、視界 良好 海象：波高 約0.5m |
| 事故の経過 | A船は、江尻船だまりの岸壁から出航中、約8～10m/sの風に圧流され、右舷船尾部のフェンダが同岸壁に係留中のB船の甲板室右舷側外壁に衝突した。 |
| 分析 | A船は、江尻船だまりの岸壁から出航中、風力5の風に圧流されたことから、係留中のB船に衝突したものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、A船が、江尻船だまりの岸壁から出航中、風力5の風に圧流されたため、係留中のB船に衝突したことにより発生したものと考えられる。 |
| 参考 | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・風等による圧流を考慮して操船すること。 |